



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2013-2014

Rotary

International

District

No.11

胎内の桜並木



ガバナー 山崎 堅輔

事務局：〒959-2627

新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F

TEL0254-28-8822 FAX0254-28-8826

E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp



CONTENTS

表紙ページ.....	1
ガバナーメッセージ.....	2
ローターアクト 第 44 回 地区大会 報告.....	3
インターアクト海外研修 報告	4
第 2 回青少年交換オリエンテーション報告.....	5
米山カウンセラー研修会 報告.....	6
社会奉仕活動報告 栃尾 RC.....	7
社会奉仕活動報告 中条胎内 RC.....	8
社会奉仕活動報告 五泉 RC.....	8
ハイライトよねやま 169 号	10
ロータリー文庫	12
第 2560 地区 2013-2014 年度 3 月末 会員数および出席報告.....	13
裏ページ.....	14



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2560 地区
ガバナー 山崎 堅輔 (中条 RC)



薫風の候、会長幹事の皆様に於かれましては、益々ご清祥のことと存じます。

各クラブ、地区、RI に於きましても、次年度への準備が着々と進んでおり、4月12日には佐々木年度の地区研修・協議会も滞り無く、見事に終了されました。

一方、私共の年度は、いよいよ最後の仕上げの段階に入りました。

ところで、現在は RI の公式プログラムから外されて居ますが、恒例となっているガバナー補佐主催の I M に出席して、その素晴らしさと熱気に圧倒されたものでした。

この IM は、RI の公式の行事で無いからこそ、自由に、規制に縛られることなく、夫々のやり方で開催出来ることも大きなメリットであると思われます。

また、それ程に内容が充実しており、参加されたロータリアンの皆様も楽しくリラックスして、ロータリーの見識を広め、親睦を深められたことでしょう。

I M は近隣のロータリークラブが夫々の活動状況、考え方を述べ合い、単独のクラブでは気付かないことに気付く、という目的を見事に達成されていました。

一年前に会長エレクト、幹事エレクトであった皆様方にとりましては、夫々に課された課題の重さに、緊張と不安で、心理的なストレスは可成りのものが有ったのではないかと推測致します。かく言う私も同様でした。

任期も漸く終わりに近づいて来て、初めて気持ちの上にも余裕が出てきて、ご自分本来のキャラクターを存分に発揮されていることと拝察致します。

任期満了まであと僅かではありますが、そのペースでご健闘頂きたく、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



ローターアクト 第44回 地区大会 報告

国際ロータリー第2560地区

青少年奉仕委員会 ローターアクト委員長

原 信博（長岡東 RC）

3月8日土曜日 三条市Geo World VIPにて、ローターアクト第44回地区大会が開催されました。第2560地区ローターアクトの分区制のくくりを廃した初めての地区大会となりました。

三条市長、國定勇人様 ガバナーエレクト 佐々木昌敏様を来賓としてお迎えし、如澤清嵩 代表 武藤 雅俊 地区大会実行委員長を中心に、大会テーマを「進」と掲げ、未来に向かったチャレンジを止めることなく前進をしていこうという意志のこもった大会となりました。2560地区以外の大勢のアクトの仲間も集い、総勢110名が参加する盛大かつ充実したプログラムの基、終了することができました。

今年度のローターアクトの地区ターゲットは「つながり」を掲げています。ローターアクト間のつながりを深める狙いがありますが、ロータリアンとローターアクトのつながりを深めることやアクトの活動の継続と未来へのつながりをつけるべく、ロータリークラブからの更なるご指導、ご協力をお願いいたします。

大会開催にあたり、三条ロータリークラブの皆様、ご参加いただきましたロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。





インターアクト海外研修に参加して

国際ロータリー第 2560 地区
青少年奉仕委員会 副委員長
高坂 光一（高田 RC）

私たちが若い彼らにできることは「成長のきっかけ」を提供することだと考えます。

今回の事業も国際交流を通じ、異文化を知り、良い仲間作りを行い、彼らの成長の一助となることにあると思います。

当初、いささか緊張気味だった彼らも台湾到着後、見学・食事を重ねることで台湾文化に徐々に慣れ、受入校の清傳高級商業學校に着くころには余裕の表情が見られ、今回のメイン事業であるホームステイに臨む際も、少し不安な表情を浮かべる生徒もいましたが多くの生徒は「さあ、何が始まるか？」と期待の表情を浮かべている姿を目にしたとき「若さには国境も言葉の壁もない」と素直に感じました。この感覚は翌日ホームステイ先から旧知の仲のような状態で戻ってきた彼らに会ったとき、さらに強まりました。

今回の事業に参加した彼らにとって、すぐこの出会いが価値有るものになるかはわかりませんが、これからも日々ある出会いが、素晴らしく自分の糧になるということを数年・数十年後に彼らを感じ、その一つにこの出会いを思い出してもらえたらと祈念します。

追伸) AKB 乱入、失礼しました。





第 2 回青少年交換オリエンテーションを終えて

国際ロータリー第 2560 地区
青少年交換委員会 委員長
倉茂 章 (頸北 RC)

3 月 23 日(日)まちなかキャンパス長岡で第 2 回青少年交換オリエンテーションが開催されました。当日は、佐々木昌敏ガバナーエレクト、山本和則ガバナーノミニーのご来賓に加え関係者総勢 25 名のご参加をいただきました。

1 年派遣候補学生は第 1 回目のオリエンテーションで「ロータリー交換学生としての心構え」を学び、今回は、「危険から自分を守る」をテーマに危険予知のトレーニングを行い、リスク回避の方法を学びました。

学生の派遣先アメリカは、日本とは違い銃が日常にある国です。安全な日本とは考え方を变えること、また、虐待やセクハラ被害に合わないよう、実際に起きた事例研究を通して、具体的な対処法について学びました。

当委員会としては過去に起きた悲しい事例を公開することは大変に勇気のいることです。しかし、ロータリーは組織の隠ぺい体質を打破し、学生の安全を第一に考える姿勢を内外に発信します。

当地区では、ロータリー関係者以外の第三者有識者を委員に含む青少年リスクマネジメント室を立ち上げ、危機管理体制を整えております。100%完璧なものなどこの世の中に存在はしません。ただ、100%に近づけようと努力する至誠(しせい)が大切なのだと思います。

難しい分野であるリスクマネジメントですが、青少年交換を通じて我々ロータリアンも学びの中で成長出来ればと考えております。





米山カウンセラー研修会を開催させていただきました

国際ロータリー第 2560 地区
米山記念奨学委員会 奨学生選考委員長
田中 雅史 (新潟南 RC)

去る 4 月 5 日万代シルバーホテルにて、山崎 堅輔ガバナー、佐々木 昌敏ガバナーエレクトにご列席いただき、この 4 月から新たに米山カウンセラーとなった方々の研修会を開催させていただきました。

ロータリーの年度は 7 月から始まりますが、大学に合わせた米山記念奨学制度では 4 月から新奨学生を迎えます。今回新たにわが地区の奨学生になったのは 19 名。昨年からの継続の 2 名を加えて 21 名の留学生在が米山記念奨学生として新生活を始めます。

彼らをサポートする新しいカウンセラー 19 名は、大半が初体験ということでやや緊張気味にスタートした研修会でした。しかし、ガバナーやガバナーエレクト、そして先輩カウンセラーや奨学生のスピーチが進むにつれ、やりがいのある役割ということを一同感じて下さったようです。

新しい奨学生が世話クラブの例会に初めて出席するのは 5 月から。皆様にはぜひ温かく迎えていただきますようお願い致します。





育て“ぶな” 育て“えのき”

栃尾ロータリークラブ

会長 大野 源

かつて栃尾は、「ぶな」と「トチ」におおわれていた。江戸時代、長岡藩の薪炭供給基地であったため、切り尽くされた。そのため大正15年の栃尾郷大水害の引き金となった。

「もう一度、身近にぶなのある環境を」のめだかの学校の呼びかけに答え、栃尾ロータリークラブも縄文の杜づくりの皆さんとともに290号線脇の平区城林に実生から育てた苗木を植え、4年が経過した。すくすく育っている。

もう一方、水害による地滑り箇所である平区滝の沢に地滑り防止を兼ね、えのきを植えた。もうひとつのわけは、オオムラサキとゴマダラチョウを呼ぶためだ。この植樹もめだかの学校の呼びかけに答えてのものだ。8年が経過した。1キロ先の畑に植えたえのきには、ゴマダラチョウが2年目に、オオムラサキが6年目に飛来した。滝の沢のえのきにもそろそろやって来る頃だ。





中条胎内ロータリークラブ創立 20 周年記念

交流クリスマスパーティー開催

中条胎内ロータリークラブ

2013 年 12 月 14 日、胎内市の中条グランドホテルは笑いの渦に包まれました。

中条胎内ロータリークラブ創立 20 周年記念行事として、東日本大震災の避難者を招いて仮装クリスマスパーティーを開催致しました。

福島県から胎内市に避難している人たちに呼びかけ、総勢 100 余名が参加しました。

各自、工夫をこらした全員仮装での参加となりました。



最初に会長の挨拶で始まり、避難されている方々の交流センターシャクナゲに「コタツとミシン 2 台」を寄贈致しました。サンタクロースが避難している子どもたちへメッセージとプレゼントを手渡し、福島県のゆるキャラ「キビタン」と胎内市のゆるキャラ「やらにゃん」が登場すると、会場の子供たちから歓声が上がりました。

仮装大会では、子供から大人まで様々な仮装をした出演者が、カラオケを歌ったり、コントを披露したりしました。NHKの朝の連続ドラマ「あまちゃん」の海女や、AKB48、水木しげる氏のマンガ“ゲゲゲの鬼太郎”の妖怪達も登場しました。

福島県南相馬市から胎内市に避難している泉田 稜太(いずみだ りょうた)くん(14)は、福島県を代表して「本当に楽しかったです。中学三年なので受験は大変ですががんばります。ありがとうございました。」と挨拶すると、新潟県を代表して高橋 楓(たかはし かえで)さん(15)は、「最初は緊張したけど、自分も参加しているうちに楽しくって笑いが止まらなかったです。中条胎内ロータリーの皆さん、福島の皆さんありがとうございました。」と挨拶した。

最後には「きよしこの夜」の合唱が行われました。

以上の様子は、12 月 17 日の新潟日報朝刊にも紹介され、1 月の市報にも掲載されました。





早朝清掃で緑のまちづくりの推進

五泉ロータリークラブ

高度成長期から、急激な都市化にともない環境の悪化が全国的に問題になっています。このようなことから、地域における緑豊かな生活環境を確保するために、公園などの公的な緑地をはじめ、民有地の緑化を進めるとともに地域の皆さんや関係諸団体の積極的な参加と協力による総合的な都市の緑化の必要が強く望まれています。

私たち五泉ロータリークラブでは、昭和五十二年より、五泉市の緑豊かなまちづくりを推進するための一助として、毎年四月から十月までの期間、第一週目の日曜日の朝六時より五泉南公園の早朝清掃を行っております。

その活動において、公園の緑がまちの景観に潤いを与え、憩いとやすらぎの空間を形成することは申すまでもありません。季節の移ろいを目の当たりにする、萌出る春の新緑、夏の深緑、秋の紅葉、冬は雪国ならではの佇まい、また鳥のさえずり、虫の音など、木々に宿る小さな生命の息吹は、私どもの心の健康に大きなプラスになります。

この南公園の清掃事業を通じて、私たちロータリアンが社会奉仕の一環として、真の豊かさを考える時、自然環境とその恵みを切り離して考えることはできません。

これからも、物理的にも精神的にも、私達の暮らしにさまざまな恩恵をもたらしてくれる公園を大切に育て、見守っていききたいと思います。それこそが精神の基本ではないでしょうか。





2014年4月11日発行【月刊】
公益財団法人ロータリー-米山記念奨学会

ハイライトよねやま 169

1 寄付金速報 — 2013-14年度もあと3カ月 —

3月までの寄付金は前年同期と比べ1.9%増、約2,100万円の増加です。普通寄付金が0.02%増、特別寄付金が3.0%増となりました。前年度比マイナスが続いていた普通寄付金がほぼ例年並にまで回復し、特別寄付金も、7月からの累計額では直近5年間での最高額を維持し続けています。今後、残り3カ月の主な寄付金収入は特別寄付金となります。クラブ創立記念寄付も例年この時期に集中します。引き続き、皆さまからのご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 各地区で新奨学生のオリエンテーションがスタート

2014学年度の奨学生は724人となりました。国・地域別では中国が40.6%、次いで韓国が15.8%、ベトナム9.8%、台湾5.5%の順となっています。中国・韓国籍の割合が2年連続で減少しており、両国の来日留学生数そのものが減少していることもありますが、地区選考委員会が国・地域の偏りに配慮して選考していることが伺えます。プログラム別では、今年度初めて学部課程が261人と最も多くなり、次いで修士課程が257人、博士課程が178人、そのほか、地区奨励奨学生（12人）やクラブ支援奨学生（10人）などとなっています。

4月～5月中旬にかけて、各地区でオリエンテーションが開催されます。米山奨学生としての義務やこの事業の意義を理解してもらい、確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。また、オリエンテーションでは学友会メンバーも受付や学友会の説明に活躍しています。どうぞ温かくお迎えくださいますようお願いいたします。

3 タイ米山学友会の総会・活動報告

3月23日、タイ米山学友会の年次総会がバンコク市内で開かれ、学友約30人が参加しました。創立して3年目を迎える今回は役員改選が行われ、第2代会長にはプリチャー・カリンさん（2009-10/東京日本橋RC）、副会長にワラウット・ブンロッドさん（1995-97/福岡東南RC）らが選ばれ、役員顔ぶれが一新しました。

タイでは昨秋から政局混乱がつづいており、3カ月に1度の理事会も思うように開催できない状況でしたが、今後の活動としてタイの大学生2人（タマサート大学・泰日工業大学）に各人10,000バーツの奨学金を支給することを決定し、後日、学友会役員が直接奨学生に手渡しました。プリチャー会長は「先輩方が築いてきた学友会を引き継ぎ、今後もより活発な活動を行って、日本のみなさんに良い報告ができるようベストを尽くしたい」と、抱負を語りました。



左からコンキットさん、ウイテット前会長、泰日工業大学の奨学生



4 さいたま大空ロータリークラブ加盟認証状伝達式

昨年11月4日に創立した「さいたま大空ロータリークラブ」(第2770地区)の国際ロータリー加盟認証状伝達式が3月23日、さいたま市内で開催されました。このクラブは、24人の創立会員全員が財団学友と米山学友で構成されており、会員の出身国は6カ国、平均年齢は35歳という国際色豊かな新世代のクラブです。初代会長は米山学友の李成哲さん(2005-06/川口モーニングRC)、幹事は米山学友の馬培金さん(1998-99/さいたま中央RC)です。



式典には約280人が参加し、恵川一成特別代表(大宮シティRC)、地区クラブ拡大特別委員長・田村亮夫パストガバナーの挨拶のあと、李会長からロータリー財団とロータリー米山記念奨学会へそれぞれ寄付金が贈呈されました。その後、渡邊和良ガバナーから李会長へ加盟認証状が手渡され、国際ロータリー理事の北清治氏らから祝辞が述べられました。記念祝賀会では、会員が優美な民族舞踊を披露し、自国や派遣先国の民族衣装を身にまどって現地語で挨拶をするなど、クラブの特色を生かした演出で参加者を楽しませました。最後は全員で「手に手つないで」を合唱し幕を閉じました。李会長は「国や民族、宗教、言葉などが違っても、私たちは皆、ロータリーとの出会いによって、人生に大きな影響を受けた。これからもお互いを尊重し、共に奉仕活動を行う中で友情を育み、その素晴らしさを世界の平和のために発信していきたい」と、決意を述べました。

5 学友から広がる支援の輪 — 第2790地区 —

米山学友、サジーワニ・ディサーナーヤカさん(2011-13/松戸西RC)は、母国スリランカの貧しい子どもたちへの教育支援活動を、夫メルビン氏とともにしています。自身も里子として進学し留学を果たしたサジーワニさんは、より多くの子どもへ教育の機会を与えたいと願い、2007年、元公立小学校校長の鈴木康夫氏の資金協力のもとに「コスモス奨学金」を設立。現在では約130人の里子を支援しています。サジーワニさんが米山奨学生となり、地区内クラブへ卓話をするなかで、支援の輪も少しずつ広がっていると言います。そのうちの一人、同地区の元米山奨学委員長・四之宮由己氏や中村俊人氏らロータリアン約15人が今年2月末、ガンパハ地域の寺院で行われた奨学金授与式に参加し、里子たちの家庭を訪問視察しました。中村氏は今回の授与式参加について、「私の里子が空港まで迎えに来てくれて感激した。当日は、大臣や市長も出席する盛大な式典で、この奨学金について真剣な表情で聞き入る子どもたちの姿に身が引き締まる思いがした。里子の家庭訪問では、食事も満足に取れず電気もない中、夢をもって勉強する子どもたちの意欲に感銘を受けた」と、報告してくださいました。サジーワニさんも「スリランカの教育現場を実際に見ただけが本当に嬉しい。米山奨学期間は終わりましたが、ロータリアンとのつながりが、今の私を支えています」と、感謝を表しました。



中村氏(左)とサジーワニさん(右)



学用品授与のようす

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

編集担当 : 野津 肇



文 庫 通 信 (320号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますのでご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎「ロータリー活動で感じたこと」 田中作次 2014 5p (D.2550月信)
- ◎「日本ロータリーの精神伝統 その1・2」 深川純一 伊丹R. C. 2010 2p (純ちゃんのコーナーPartⅨ)
- ◎「ロータリーの伝統 その1～3」 深川純一 伊丹R. C. 2013 3p (純ちゃんのコーナーPartⅩⅡ)
- ◎「少会員クラブの運営に思うこと」 安孫子貞夫 2014 1p (D.2800月信)
- ◎「ロータリアンその使命と魅力」 大迫三郎 2013 3p (D.2730月信)
- ◎「ロータリーの原点とは？」 本田博己 2013 3p (D.2840月信)
- ◎「ロータリー理解推進月間によせて“温故知新”奉仕の理想など」 諏訪昭登 2014 1p (D.2710月信)
- ◎「ロータリー・ファミリーの素晴らしさ」 飯村慎一 2013 1p (D.2550月信)
- ◎「あの素晴らしいMR.ハリスと世界を変えたそのクラブ」 R. I. ; 肥爪彰夫訳 2012 [15p]
- ◎「驚くべきポリオの話！(ロータリーの冒険)」 R. I. ; 肥爪彰夫訳2013 [15p]

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



第2560地区 2013-14年度 3月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	3月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	87.72	345	348	37	3
新発田	5	96.88	85	85	0	0
村上	4	85.94	32	33	7	1
水原	4	80.89	26	26	1	0
中条	4	88.97	31	34	3	3
新発田城南	3	82.91	42	39	6	-3
豊栄	4	82.40	26	27	4	1
新発田中央	4	86.93	50	50	5	0
中条胎内	3	90.81	29	29	5	0
村上岩船	4	93.75	24	25	6	1
第2分区(9クラブ)	／	82.73	405	430	16	25
新潟	4	85.09	83	90	0	7
新潟東	3	88.53	53	56	5	3
新潟南	4	88.33	85	93	0	8
佐渡	4	75.00	12	12	0	0
新潟西	4	76.40	32	33	0	1
佐渡南	4	96.11	42	44	5	2
新潟北	5	68.80	36	41	0	5
新潟中央	3	94.20	23	23	0	0
新潟万代	5	72.11	39	38	6	-1
第3分区(6クラブ)	／	70.73	138	135	8	-3
新津	4	70.84	25	24	1	-1
村松	4	83.00	9	9	0	0
五泉	4	75.68	21	20	3	-1
白根	4	70.90	43	43	2	0
新津中央	4	70.84	31	30	1	-1
阿賀野川ライン	4	53.10	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)	／	79.07	352	364	20	12
三条	4	87.61	54	55	0	1
燕	4	72.54	25	28	1	3
加茂	4	72.57	31	31	5	0
三条南	4	89.53	44	50	1	6
分水	4	96.40	29	29	2	0
見附	4	75.00	18	20	1	2
吉田	3	80.70	33	33	1	0
三条北	4	76.10	71	69	4	-2
巻	4	80.00	11	11	0	0
田上あじさい	4	58.30	6	6	1	0
三条東	4	81.04	30	32	4	2

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	3月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	84.25	300	299	30	-1
長岡	3	89.52	37	39	2	2
柏崎	4	80.98	47	46	0	-1
長岡東	4	86.30	63	62	7	-1
柏崎東	5	91.11	44	45	5	1
栃尾	4	74.42	25	22	0	-3
長岡西	4	81.40	44	46	5	2
柏崎中央	4	86.02	40	39	11	-1
第6分区(6クラブ)	／	83.46	148	152	6	4
十日町	4	91.65	32	33	0	1
小千谷	4	88.98	38	39	3	1
雪国魚沼	4	77.80	21	21	1	0
十日町北	4	91.30	22	23	1	1
津南	4	73.95	24	24	1	0
越後魚沼	4	77.07	11	12	0	1
第7分区(9クラブ)	／	78.67	302	304	26	2
高田	3	95.42	58	57	0	-1
直江津	4	70.90	37	43	2	6
新井	4	79.03	29	30	3	1
糸魚川	3	75.06	36	36	2	0
妙高高原	0		4	0	0	-4
高田東	5	86.50	38	40	3	2
糸魚川中央	3	75.00	33	33	0	0
頸北	4	78.60	15	15	1	0
越後春日山	4	68.88	52	50	15	-2

妙高高原RCは11月末で解散致しました。

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	1,990	人
3月末 会員数	2,032	人
女性会員数	143	人
純増減会員数	42	人
当月平均出席率	81.22	%



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2560



国際ロータリー第2560地区 山崎ガバナー事務所

〒959-2627 新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F
Tel.0254-28-8822 FAX0254-28-8826
E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp